

台風時等の児童の登下校と授業の実施について

「熊野市、紀勢・東紀州、三重県南部地方、和歌山県新宮・東牟婁地域、和歌山県南部地方」に、以下の**警報**が発令された場合は・・・

1. **登校前に、「暴風警報」「暴風特別警報」「大雨特別警報」「暴風雪警報」「暴風雪特別警報」「大雪特別警報」**が発令された場合

- (1) 児童は登校を見合わせ**自宅待機**とします。 ※学校から連絡はしません。
- (2) 午前11時までに解除された場合は、解除後、原則2時間以内の余裕をもって登校し、授業を行います。 ※学校から連絡します。  
給食は、午前8時まで**に警報が解除されないときは中止**です。給食を準備できない場合は、家庭で昼食を済ませてから登校してください。  
※周囲の状況を考慮したうえで、余裕をもって登校させてください。(警報が解除されても、河川の氾濫や通学路が危険な状況であれば、保護者の判断で登校を見合わせてください。その場合は学校に連絡してください。)
- (3) 午前11時になっても解除されない場合には、休校とします。 ※学校から連絡します  
\* 通信網が遮断されたような場合は、自宅待機を原則とします。

2. **登校後に、上記の警報**が発令された場合

- (1) 周囲の状況を見極めたうえで下校させます。
- (2) ただし、通学路の状況など安全に帰宅することが危ぶまれる児童については、家庭と連絡を取り、学校で待機するなどの対応を行います。  
※状況により、引き渡しの体制を取ることがあります。この場合、保護者は学校へ児童を迎えに来てください。引き渡しがなされるまで、学校で待機します。  
※学校から緊急連絡網を通して家庭連絡します。ただし、通信網が遮断されたような場合は、連絡が取れ引き渡しができるまで学校・避難所で待機します。

※大雨警報・洪水の場合でも校長の判断により、その都度適切な処置を講ずるときがあります。その場合は、午前7時まで学校から連絡します。

※通学路の状況は、さまざまです。登校させるか自宅待機させるかの判断は、安全を最優先に考え、遅刻・欠席の時は学校に連絡してください。

「熊野市(市内該当地区)」に**避難勧告**が発令された場合

1. **登校前**に発令された場合

・自宅待機

2. **登校後**に発令された場合

・終業時刻まで、児童を待機させます。ただし、安全を最優先する中で、保護者への引渡し等を行います。

「緊急時の児童の引き渡し」について

- 1 下校の安全が見込めない場合は、保護者等(引き渡しカードに記載の方)への引き渡しによる下校を行います。
- 2 引き渡しができない場合は、学校で待機させます。
- 3 学校からの連絡がない場合でも、「震度5弱以上の地震」や「東海地震注意情報の発令」の時は、引き渡しによる下校となります。

地震時の緊急避難等の対応について

居場所	東海地震注意情報発令時	突発的な大規模地震発生時	○東海地震 現在、地震予知情報等が発表されるのは「東海地震」だけです。緊急度に応じて、3段階で発表されます。						
登校前	<input type="checkbox"/> 自宅待機 <input type="checkbox"/> 解除されるまで休校（学校からの連絡を待つ）	【震度4以下の地震】安全確認後、登校 【震度5弱以上】自宅待機（学校からの連絡を待つ）		<table border="1"> <thead> <tr> <th>低</th> <th>中</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東海地震に関する調査情報</td> <td>東海地震注意情報</td> <td>東海地震予知情報「警戒宣言」</td> </tr> </tbody> </table>	低	中	高	東海地震に関する調査情報	東海地震注意情報
低	中	高							
東海地震に関する調査情報	東海地震注意情報	東海地震予知情報「警戒宣言」							
登校時	<input type="checkbox"/> 自宅・学校の近い方へ移動し待機（家庭と学校間で所在場所を確認する。登校した場合は、 <u>引き渡しの体制</u> で対応。）	【揺れが小さいとき】揺れがおさまってから登校 【揺れが大きい・長いとき】自宅・学校・避難場所の近い方へ移動し待機	情報に注意するが平常通り 【在校中の発表】授業を中止し、下校させます。保護者は学校へ児童を迎えに来て <u>ください。引き渡し</u> がなされるまで、 <u>学校で待機</u> 。（引き渡し体制の場合、引き渡しがない限り、学校で待機となります。） 【登下校中の発表】自宅・登校の近い方へ避難する。 【在宅中の発表】休校となり、解除になるまで自宅待機となります。						
学校にいる時 授業中 休み時間・放課後	<input type="checkbox"/> 授業を中止し、下校指示（ <u>引き渡しの体制</u> で対応） <input type="checkbox"/> 教室に戻り、下校指示（ <u>引き渡しの体制</u> で対応）	<input type="checkbox"/> 緊急地震速報により安全確保 → 避難 【震度3以下】揺れがおさまってから授業 【震度4】 ①揺れのおさまりを確認の上、校庭に避難 ②安全確認後授業 【震度5弱以上】 ①揺れのおさまりを確認の上、校庭に避難 ②下校指示（ <u>引き渡しの体制</u> で対応）		○東南海・南海（南海トラフ）等の大規模地震 現在、東南海・南海・南海トラフ等大規模地震については予知情報等の発表はありません。 ○震度5弱以上の地震発生後の措置について 学校から連絡があるまで自宅で待機してください。通信網が遮断された場合も同様です。 《災害伝言ダイヤルの利用法》10秒以内 ☆171をダイヤルすると、下記のことを案内してくれます。 ・自分の情報を誰かに伝えたい場合 171-11-自分・自宅の電話番号⇒録音する ・学校の情報を知りたい場合 171-2-0597(83)0022⇒再生（聞く） ★通信網が遮断された場合の学校との連絡について PTA役員さん、地区役員さんを中心にお願います。					
下校時	<input type="checkbox"/> 自宅・学校の近い方へ移動し待機（家庭と学校間で所在場所を確認する。登校した場合は、 <u>引き渡しの体制</u> で対応）	【揺れが小さいとき】揺れがおさまってから下校 【揺れが大きい・長いとき】自宅・学校・避難場所の近い方へ移動し待機							
校外学習時等	<input type="checkbox"/> 校外学習を中止し、学校へ戻る（ <u>引き渡しの体制</u> で対応）	<input type="checkbox"/> 安全確保（第1次避難） <input type="checkbox"/> 避難（第2次避難） 以上の対応の上、状況に応じて避難所・学校で <u>引き渡し</u> の体制で対応							